

令和2年8月1日

第73号

令和2年5月臨時会、
6月定例会の内容を
お知らせします。

市掛川 議 会 だ よ り

おもな内容

- P2 シリーズ「議会のとびら」第4回
- P3 各常任委員会 年間テーマ
- P4 補正予算の概要(5月臨時会)／審議結果一覧(5月臨時会)
- P5 補正予算の概要(6月定例会)
- P6 不適切行政事務調査特別委員会 委員長報告(6月定例会)
- P8 一般質問(6月定例会)
- P10 常任委員会 委員長報告(6月定例会)
- P11 審議結果一覧(6月定例会)
- P12 未来日誌／新型コロナウイルス感染症対策と取り組み
傍聴席／表彰／視察受け入れ状況／表紙の説明

市議会をより身近に感じていただくために、市議会や市政の情報をタイムリーに紹介し、市議会とみなさんをつなぐコーナーです。

今回は、掛川市議会出前講座について

新企画!

掛川市議会 出前講座

こんにちは市議会です!

掛川市議会では、市民により開かれ、より信頼される議会となるために出前講座を実施します。

議会に対する理解や関心を深めてもらうため議員が現地に出向いて議会の役割や仕組み等を説明し、意見交換もします。

講座内容



- ① 議会の役割及び仕組みに関すること
- ② 議員発議条例に関すること
- ③ その他議会に関すること



対象



市内在住の方々

開催時間



質疑応答時間とアンケート記入時間を含み1時間ほど

開催場所



会場の用意や準備は、市民のみなさんでお願いします
※会場は市内に限ります



申し込み方法



「掛川市議会出前講座申請書」に必要事項記入の上、実施希望日の1ヶ月前までに議会事務局へ提出してください

費用 無料



ただし、会場使用料がかかる場合は開催するみなさんで対応をお願いします

本会議会期中は出前講座は行いません。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、お申し込みいただいても実施できない場合がありますので、ご了承ください。 詳しいお問い合わせは議会事務局 (☎ 21-1160) をお願いします。

各常任委員会 年間テーマ

各常任委員会は、年間テーマを設定し、議会報告会や政策提言に向けて調査研究を行っています。

総務委員会

委員長 小沼秀朗

年間テーマ 市民を守る！新型コロナウイルス感染症対策

総務委員会では、長期化が予測される新型コロナウイルス感染症への対応策を令和2年度最重要課題と位置付け、感染予防と両立しながら社会活動を回復させていくよう、年間テーマを「市民を守る！新型コロナウイルス感染症対策」と設定しました。

既に総務委員会協議会において、新型コロナ緊急支援対策室のあり方、様々な支援事業に関する市民の皆様への周知伝達方法、避難所運営における新型コロナウイルス感染症対策等を協議しています。いかに命と暮らしと経済を守るのか、市民の皆様の声を反映しつつ、新しい生活様式を取り入れたまちづくりへの変革を推進してまいります。



環境産業委員会

委員長 山本裕三

年間テーマ ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策

環境産業委員会は、「ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策」を年間テーマとしました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、市内の産業は危機的状況に陥っています。今後はこのコロナ禍において、人々の価値観が変容していくと考えられます。その中でも、テレワークや観光事業推進、サテライトオフィス等をキーワードに、現況について多方面からヒアリング等を行い、現在の課題に対応しながら、ウィズコロナ、ポストコロナ社会の中で掛川市をどのように活性化していくか調査研究をいたします。



文教厚生委員会

委員長 窪野愛子

年間テーマ 人生100年時代構想を踏まえた包括ケアシステムの現状と課題について

超高齢社会において、地域住民が住み慣れた地域で安心して自分らしく、最期まで暮らすためには、医療・保健・福祉・介護などの切れ目のない支援の充実強化が求められています。

本市は、国が推進する地域包括ケアシステムの考え方にに基づき、平成22年に開所した、掛川市地域健康医療支援センター「東部ふくしあ」をはじめ、市内5ヶ所に「ふくしあ」が設置されました。団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題が迫り、今後その役割はさらに大きくなることでしょう。

文教厚生委員会では、人生100年時代構想を踏まえ、本市の「ふくしあ」を中心とした地域包括ケアシステムの現状と課題を調査研究し、政策提言に結び付けたいと思います。



5月臨時会 令和2年度一般会計補正予算(第3号)の概要

補 正 額

2億675万7千円

補正後の予算額

633億9,314万3千円

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費追加

1億7,863万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている、子育て世帯の生活を支援するため、対象児童1人につき1万円の臨時特別給付金を支給するための給付費や事務費。



急患診療所運営事業費増

2,763万円

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、PCR検査が実施できる体制の整備をするため、PCR検査場の運営委託や検体検査の委託、医療資機材等購入の経費。



新型インフルエンザ等予防事業費増

50万円

乳幼児健診時の感染防止対策として空気清浄機等の購入費。



5月臨時会における審議結果一覧

■ 全会一致で可決・承認

令和2年度 補正予算	令和2年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について 上記のとおり
	令和2年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対して、傷病手当金を支給するため補正
条 例	掛川市税条例の一部改正について 新型コロナウイルス感染症に関する改正等
	掛川市国民健康保険条例の一部改正について 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対する傷病手当金支給に係る改正
	掛川市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について 新型コロナウイルス傷病手当金の支給申請書提出の受付に係る事務に関する改正
そ の 他	市道掛川高瀬線道路改良工事請負契約の締結について 一般競争入札により、請負契約を「松下・掛土特定建設工事共同企業体」と締結
	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度掛川市一般会計補正予算(第2号)) 新型コロナウイルス感染症拡大防止や特別定額給付金の早期給付のため補正
	専決処分の承認を求めることについて(掛川市国民健康保険税条例の一部改正) 国民健康保険税の軽減対象となる世帯の拡充に係る改正
議 発	「新型コロナウイルス感染症の早期終息と地方自治体の財政支援を求める意見書」の提出について 国に対して意見書を提出し、国民への正確で詳細な情報提供、医療体制の拡充、地方自治体への財政支援等について一層の推進を図るよう要望

6月定例会 令和2年度一般会計補正予算(第4号)の概要

補正額

1億3,639万円

補正後の予算額

635億2,953万円

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症対策として、消費回復事業費補助金などの追加と、**財源として既決予算事業の見直しを行い、7億9,602万円**が確保されました。見直しされた主な事業は、議会費、市長などの人件費、ならここの里の整備、かけがわ茶エンナーレの開催、和田岡古墳群の整備、はしご車の購入などです。また、感染拡大防止の観点から、各種講演会や研修会等も中止や縮小されました。

学校教育情報化推進事業費 **増**

6億3,173万円

全ての児童・生徒に1人1台タブレット端末を整備する費用。



地域経済応援事業費 **増**

450万円

休業要請協力事業所等に消毒液を配布する事業と、キャッシュレス決済で10%のポイントを付加する事業に対する補助金。



生活困窮者自立支援事業費 **増**

810万円

休業による収入減少により、住居を失う恐れのある方々に対する住居確保給付金。



6月定例会 令和2年度一般会計追加補正予算(第5号)の概要

補正額

2億9,573万円

補正後の予算額

638億2,526万円

追加補正予算は、地域経済に対する経済回復事業費と、小中学校の児童・生徒の感染症対策事業費なども追加されました。また、**ごみ焼却施設(環境資源ギャラリー)の故障に伴う静岡市でのごみ焼却処理経費4,974万円**も盛り込まれました。

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費 **追加**

1億258万円

児童扶養手当受給世帯等に1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円、収入が減少した児童扶養手当受給世帯等に1世帯5万円を支給。



ポストコロナ対応経済活動助成金給付事業費 **追加**

1億694万円

新しい生活様式やポストコロナ対応を行う事業者等への支援。事業費の3分の2以内の額で上限10万円を支給。



農畜産業者等応援給付金給付事業費 **追加**

1,897万円

感染症の影響により売上が30%以上減収した農畜産業者等への給付。従業員がいる場合は20万円、従業員がいない場合は10万円を支給。



不適切行政事務調査特別委員会 委員長報告

市議会6月定例会最終日（7月2日）に委員長報告をした内容について概要を報告します。
2月28日から6月26日まで11回の特別委員会を開催し、当局や参考人延べ25人から事実確認や意見聴取を行いました。4件の事案について以下のとおり、その内容、発生要因と問題点、今後の対策提言という形で掲載いたしました。

1 令和元年12月期の期末・勤勉手当の議決前予算執行

内容	市議会11月定例会に議案として提出された「市長、特別職、職員の給与に関する条例などの一部改正」について議決前に改正後の額で予算執行し支給をしていたこと。		
発生要因と問題点	<ul style="list-style-type: none"> ① 期末勤勉手当の支給割合等が議決事項であることを給与担当者が理解していなかったこと。 ② 給与改定事務の流れを上司が適切に指導していなかったこと。 など 	今後の対策提言	<ul style="list-style-type: none"> ① 根拠法令をしっかりと理解すること。また、上司は理解させるよう指導監督を行うこと。 ② 市議会の議決を要する事案の重要性をしっかりと理解させること。 など
まとめ	この事案は、法令や財政を担当する総務部の所管であり、極めて遺憾である。市議会開会中の議決前執行であり、単純なミスでは済まされない。職員教育と法令遵守を徹底し、二度とこのような問題を起こさないよう要請する。		

2 個人情報の持ち出し

内容	西中学校の職員が個人情報の掲載された行政文書を、正当な理由なく持ち出したこと。		
発生要因と問題点	<ul style="list-style-type: none"> ① 通常、施錠可能な場所に保管すべき個人情報を非常勤職員が持ち帰ってしまったこと。 ② 非常勤職員による個人情報の管理を管理職が許可していたこと。 など 	今後の対策提言	<ul style="list-style-type: none"> ① 会計年度任用職員を含む全職員に対して「掛川市教育委員会学校教育情報セキュリティ対策基準」の遵守を徹底させること。 など
まとめ	学校は、教員と事務職員、県・市職員、正規職員、会計年度任用職員など様々な職種や身分の職員が勤務する複雑な職場環境にあり、同様の事案の発生が危惧される。校長、教頭等の管理職には、各学校の現状に応じた適切な人事管理と予防方法を定めるなどの見直しを要請する。		



改修工事が中断となっているファームポンド貯水タンク
(P7-③ 和田岡原地内における登記の誤処理)



家代の里地内緑地を視察する特別委員会委員
(P7-④ 家代の里地内における緑地の売却)

3 和田岡原地内における登記の誤処理

内容	和田岡原地内において、ファームpond用地が誤って登記処理され、地権者の同意が得られず、改修工事が中断していること。		
発生要因と問題点	<ol style="list-style-type: none"> 1 用地を誤って登記し、分筆登記の際にも誤りに気づかなかったこと。 2 登記誤り発覚後、地権者に迅速かつ丁寧な説明が不足していたこと。 など 	今後の対策提言	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長自らが相手先への直接謝罪と解決に向けた協力要請を行うこと。 2 防除組合関係者や県と協力し、問題解決にあたること。 など
まとめ	<p>この事案は、40年以上前の登記手続きの誤りが発端であるが、発覚後、地権者に対する対応が遅れたことで、地権者の心証を害し、交渉を更に困難にしたと思われる。</p> <p>市長自ら謝罪するとともに、地元の関係者や県と十分な連携を図り、毅然と対応し早期に解決するよう要請する。</p>		

4 家代の里地内における緑地の売却

内容	平成14年に家代土地区画整理組合より掛川市に引き継がれた緑地を、本来は行政財産として管理すべきものを普通財産として平成30年に不動産業者に売却したこと。		
発生要因と問題点	<ol style="list-style-type: none"> 1 土地区画整理事業で市有地となった緑地を行政財産とせず、普通財産として管理することが慣行となっていたこと。 2 前副市長と管財課が中心となり、売却の2年前から売却を前提に検討されており、市長を含めた全庁協議の体制が構築されていなかったこと。 3 発覚後、相手方への迅速な対応がなされていなかったこと。 など 	今後の対策提言	<ol style="list-style-type: none"> 1 早急に市長自らが相手先への直接謝罪と市民のための解決に向けた対策に総力を挙げて取り組むこと。 2 市長および副市長が、庁内マネジメントのあり方を積極的に改革していくこと。 3 問題発生時における全庁的な情報共有と適正な対処方針について検討すること。 など
まとめ	<p>この事案は、宅地開発が前提の緑地売却という極めて重要なことが、政策形成の段階で一度も市長に報告されていないこと、県からの指摘があった以降も、約一年間にわたり報告されていなかったこと、など不可解なことも残った。市長は市民の代表として、この件の早期解決に向け、相手方に対し礼を尽くして謝罪するとともに、今後の対応について協力を願い、市民にとって最良の解決策を見出すよう努力することを要請する。</p>		

以上のように特別委員会の協議結果に基づき、調査報告と市長に対し提言をいたしました。

委員 長	草 賀 章 吉	副 委 員 長	小 沼 秀 朗
委 員	窪 野 愛 子 榛 村 航 一	山 本 裕 三 藤 澤 恭 子	鈴 木 久 裕



創世会
山本裕三

子どもたちの「学びの保障」をどのように守っていくのか

Q コロナ禍で開催が危ぶまれる小学校のスポーツ少年団活動、クラブ活動の市内大会、中学校の中体連に替わる大会の開催検討が必要である。

また、休校による子どもたちの学びに差が出ないように、学習支援の検討が必要と考えるが見解を伺う。

子どもたちの活動と学びの支援に努める

A スポーツ少年団などの活動は、関係団体と連携して支援していきます。また、中体連の代替の試合などの安全な運営を支援していきます。

子どもたちの学びに差が出ないように、課題の提示と把握、動画配信などを行いました。また、夏季休業の短縮により、授業日数

を確保しました。学校再開後は、個に応じた支援に努めています。

小中学校へのタブレット端末導入および新型コロナウイルス感染症第2波に備えて

Q 小中学校の児童・生徒一人一台のタブレット導入の方針が出された。何よりも大事なことは、子どもたちが使いやすく先生方にも負担が少ない機種を選定をすることである。導入後、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、再び臨時休校となった場合にはオンライン授業等を行うのか伺う。

小中学校の児童・生徒一人一台のタブレット導入の方針が出された。何よりも大事なことは、子どもたちが使いやすく先生方にも負担が少ない機種を選定をすることである。導入後、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、再び臨時休校となった場合にはオンライン授業等を行うのか伺う。



オンライン授業等の課題解決に取り組む

A 休校中は、動画配信、学習支援システムによるオンライン学習を行いました。ネット環境が整っていない家庭があるなどの課題がありますので、全ての子どもたちが平等にオンライン授業を受けられるよう、課題解決に取り組めます。



日本共産党
勝川志保子

ポストコロナを見据え、市の計画の見直しを

Q 市の総合計画、現在策定中の公共施設再配置計画・学校再編計画、工業団地の造成、中小企業振興計画、中心市街地活性化基本計画など、ポストコロナを見据えて、立ち止まり、計画の見直しをするべきではないか。



客足が戻らない駅前

市の将来を見据えた総合計画等の見直しを検討していく

A 新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢の変化や、市民生活、産業等への影響を分

析し、ポストコロナの新しい時代を視野に、今後のまちづくりを進めていく必要があると考えます。

調査に基づく新たな支援施策は、財源に基金の充当も

Q 新型コロナウイルス感染症の影響をしっかりと調査の上、ふるさと応援基金の市長裁量分なども充当して、新たな支援策の創設を。国の支援制度は周知をしつつ行い、確実に市民の元に支援を。

国の補助金などの財源を活用、国の制度は市民にわかりやすく周知していく

A 新型コロナウイルス感染症対策については、国の補助金や地方創生交付金などの財源を活用する考えです。さらに財源確保の必要性があれば、ふるさと応援基金の活用も検討していきます。

国の支援制度については、市民にできるだけわかりやすく周知して、活用いただけるよう努めていきます。



創世会
小沼 秀朗

コロナ禍を乗り越える掛川茶の販売促進策を伺う

Q 国産農林水産物等販売促進緊急対策事業の茶販売促進緊急対策事業等支援策を活用し、全国への消費拡大につながる掛川茶販売促進策を図れないか伺う。

販売促進策を計画している

A 掛川茶振興協会では、上限5000万円の補助金を活用し、包括連携協定を締結している「ソフトバンク株式会社」の協力を得て、全国約3000店舗で掛川茶の試供品を配布し、健康効能などを発信する計画を進めています。

ウィズコロナ、ポストコロナの年間行事を中止する

Q 児童、生徒の心を満たすよう小中学校の年間行事を中止す

ることなく開催方法を工夫して実施できないか。また少人数学級への見直しが必要でないか伺う。



体育祭をはじめとした各校の年間行事

可能な限り学校行事は実施、少人数学級の実現は難しい

A 子どもや保護者の学校行事に対する期待は大きく、可能な限り実施されるべきと考えます。総合的に判断し、中止の場合には、その他の行事や各授業において子どもの心を満たすような活動を行えるよう、各校を支援していきます。

感染防止のために、1学級の人数を減らすことは有効だと考えますが、教員と教室の確保が困難であり、実現が難しいのが現状です。

公共施設再配置計画は見直すべきでは

Q 老朽化する多くの市内公共施設の再配置計画は、10年20年先を見据えた維持管理費とポストコロナの市民生活を考慮し、施設評価の情報公開のもと計画を再検討し、スケジュールの見直しが必要と考えるがいかがか。

新型コロナウイルス感染症の影響などを考慮して検討していく

A 策定スケジュールは、昨年9月に公共施設再配置方針および再配置計画案を公表し、議会、行財政改革審議会で議論していただきました。地区説明会やアンケート調査を行い、様々な機会に適切に議論を進めています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響などを考慮し、必要があれば、スケジュールの見直しを含め



共に創る掛川
富田まゆみ

子どもたちの公平な学習環境整備を進めるべきでは

Q 今後の新型コロナウイルス感染症に備えた学校と家庭の双方向授業のために、家庭の通信環境の補完として市内公共施設のWi-Fi整備を進めるべき。また、個人用のルーター貸出しやLTE付タブレット端末導入も検討すべきと考えるがいかがか。

Wi-Fi拠点の拡充に努める

A 現在まで、公共施設などでのWi-Fi環境を整備してきました。今後も「掛川市公衆無線LAN推進協議会」とともに、Wi-Fi拠点の拡充に努めます。また、ご提案についてもどのような形でWi-Fi環境を整備していくのが最も利用が促進されるか研究していきます。

【その他の質問事項】

・コロナ禍を考慮し松ヶ岡施設整備を凍結すべき





至誠の会
鷺山喜久

40歳からの乳がん検診年齢の引き下げを

Q 日本人女性における乳がんの発病状況は、40歳代になると急激に増え、女性に発病するがんの第一位である。特に年齢が若くても発病をする。初期の段階で発見をして治療すれば、完全に治すことができる。他市では有料で20歳代からエコーにて検診をする市もあるが、掛川市は問診とマンモグラフィ検査である。検診年齢を引き下げる考えはないか伺う。

若年の方へ、より確かで体に負担が少ない検診方法を検討していく

A 掛川市の乳がん検診は、放射線を使った発見率の最も高いマンモグラフィ検査で40歳以上が対象となっています。20歳代から30歳代の方は、放射線の被爆の心配や、乳腺濃度が高

く発見率も低いいため、実施しておりません。超音波検査は、正しい結果が出にくく、何度も検査が必要なが多く見られます。掛川市では、子宮頸がん検診対象者全員に乳がんの自己検診法の紹介をしています。今後、より確かで体に負担が少ない検診方法を検討していきます。



徳育保健センター

【その他の質問事項】

新型コロナウイルス感染症から生活困窮者の命と暮らしを守る制度の活用について



令和2年度補正予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

総務委員会 委員長 小沼秀朗

① 防災リーダー養成講座費用削減について

Q 防災対策費に防災講座等の費用削減があるが、今こそ新型コロナウイルス感染症対策を盛り込む従来とは違う防災リーダーの養成講座が必要ではないか。

A 10年間で1,000人の受講を目標とし、現在、8年目で800人以上が受講済みです。先般のコロナ対応避難所運営訓練を講座に取り入れたいと考えています。

② はしご付消防車の整備延伸について

Q 消防施設整備費はしご付消防車の整備が、コロナ禍による当初予算の見直しにより、延伸となったが、消防職員の士気が下がることはないか。

A 整備に向けての教育や訓練をしていたが、来年度に向けて準備を継続し、モチベーションを保つよう努めていきます。

環境産業委員会 委員長 山本裕三

① 地域おこし協力隊事業費について

Q 地域おこし協力隊事業費について、地元では、関心が高く、機運が盛り上がったと思うが、減額の理由を伺う。

A 地域おこし協力隊については、新型コロナウイルス感染症対策を優先し、事業の見直しに至りました。本年度は、協議会が取り組む基盤づくりや情報発信などの活動を、一緒に伴走型で支援していきたいと考えています。

② 市営住宅ストック総合活用計画策定委託料について

Q 市営住宅ストック総合活用計画策定委託料の減額について、外部委託をやめて、職員自らが策定していくことになるのか。

A 国土交通省より、計画策定の指針や方針が出されているので、収集した既存の資料と併せて、職員が勉強しながら策定していきます。

文教厚生委員会 委員長 窪野愛子

① 生活困窮者自立支援事業費について

Q 生活困窮者自立支援事業の住居確保給付金が支給される期間について伺う。

A 住居確保給付金の申請を受けた際には、3ヶ月の家賃補助をします。その後、生活が改善されない場合は、最大9ヶ月まで給付できます。

② 学校教育情報化推進事業費について

Q 児童生徒に今年度中に、1台ずつタブレット端末を配布する計画だが、低学年から必要と考えているか。

A 国の施策に沿って、掛川の子どものための教育環境を整えていきます。国からタブレット端末1台につき4万5千円の補助金があります。

6月定例会における審議結果一覧

■全会一致で可決・同意・受理

予算	○令和2年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
条例	○市長等の給料の特例に関する条例の制定について
	○掛川市税条例等の一部改正について
	○掛川市都市計画税条例の一部改正について
	○掛川市介護保険条例の一部改正について
	○掛川市林業振興基金条例の一部改正について
	○掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
議発	○掛川市議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について 6月期末手当の2割カット
	○「新型コロナウイルス感染者受入病院への財政支援を求める意見書」の提出について 国と県に意見書を提出し、感染者受入病院に対し減収補填するなど、特段の財政支援を強く要望

人事	○掛川市農業委員会委員の任命について 14件
	○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 2件
その他	○掛川市立小・中学校校内通信ネットワーク整備工事請負契約の締結について
	○掛川市道路線の廃止について
	○掛川市道路線の認定について
	○掛川市道路線の変更について
	○土地の取得について(下垂木地区まちづくり事業)
	○土地の取得について(海岸防災林強化事業)
報告	○令和元年度掛川市一般会計繰越明許費の報告について
	○令和元年度掛川市一般会計事故繰越しの報告について
	○令和元年度掛川市公共下水道事業特別会計繰越明許費の報告について
	○令和元年度掛川市水道事業会計建設改良費繰越しの報告について

■賛否の分かれた議案(賛成多数可決) ○賛成 ×反対

議案名	議員名	創世会										AMK*		共掛*	至*	志*	共*		
		大石勇*	寺田幸弘	藤原正光	榛村航一	嶺岡慎悟	山本裕三	松本均	小沼秀朗	二村禮一	鈴木正治	藤澤恭子	松浦昌巳	窪野愛子	山本行男	鈴木久裕	富田まゆみ	鷲山喜久	草賀章吉
○令和2年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
○令和2年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について ※1	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
○令和2年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
○令和2年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について ※2	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
○令和2年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について ※3	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×

■賛否の分かれた議案等(賛成少数否決)

○※1~3について常任委員会に付託する件(動議)	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
○令和2年度掛川市一般会計補正予算(第4号)に対する修正案	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○
○令和2年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)に対する修正案	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○

*議長(大石 勇)は、採決には参加しません
 *AMK▶アクティブマネジメント・公明クラブ 共掛▶共に創る掛川
 *至▶至誠の会 志▶志誠会 共▶日本共産党

未来日誌

8月

21日(金) 9:00 ○全員協議会

9月

1日(火) 9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)
 15日(火) 9:00 ○本会議(一般質問)
 16日(水) 9:00 ○本会議(一般質問)

17日(木) 9:00 ○本会議(一般質問～議案質疑～委員会付託)

本会議終了後 ○常任委員会

23日(水) 9:30 ○常任委員会

10月

1日(木) 9:30 ○本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

23日(金) 9:00 ○全員協議会

※7月13日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

市議会の新型コロナウイルス感染症 対策と取り組み

基本的対策

- 身体的距離の確保
- マスク着用の徹底
- 手指消毒薬の使用
- 3密(密集、密接、密閉)の回避



市議会の取り組み

- 議会費を744万5千円削減
常任委員会視察費50%減
特別委員会視察費100%減
東京研修費100%減
- 議員の6月期末手当を20%削減
- 政務活動費50%減の努力目標
- 行政視察や個人研修は当分の間、見合わせ
- 常任委員会市内現地視察を中止
- 5月臨時会および6月定例会で新型コロナウイルス対応の意見書の提出



密を避けるため、議場外のモニターで提案説明を聴取

鈴木正治議員
一般表彰
(議員15年以上)



第96回全国市議会議長会定期総会が書面会議にて開催され、鈴木正治議員が表彰を受けられました。

傍聴席

私は6月議会の一般質問をインターネットの議会中継で視聴しました。本論を実現するには、コロナ禍の対策を推進する組織などをつくることで、実行力が高まると感じました。今後、コロナ禍の中で、新しい生活様式を取り入れ、インターネットの議会中継を活用していきたいと思えます。

天野 功(中央三丁目)

行政視察受け入れ状況

掛川市議会では、令和2年4月より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行政視察の受け入れを中止しています。今後の受け入れについては、感染拡大の状況を考慮して、判断していきます。

今号の表紙

背景は、「達人に学び伝える会」の会員により作成された葛布のタペストリーです。

題字は、静岡県立掛川工業高等学校3年(令和元年度)深田彩名さんの作品を掲載しました。



掛川工業高校 校舎と虹

※「達人に学び伝える会」は、伝統工芸の葛布が人々の生活から消えつつある中、先人が残した技を学び、それを伝え広めることで葛布を長く残す活動をしている団体です。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響で、3月から5月までの3ヶ月間は不要不急の外出は避け、世界中で我慢の時間を過ごしました。これにより経済は悪化し生活様式も変わろうとしています。これまでも違った社会をどのように創っていくたら良いのか?皆さん一人一人のご意見や想像力を膨らませて、未来の掛川市を創っていきましょう。9月議会では、3密制限が緩和され、議場でお目にかかれることを願っています。

広報広聴特別委員会
委員 松浦昌巳



※この市議会だよりは、FSC®認証用紙を使用しています。

